&

された。

地知子氏よ

若々しい肌をつくる化粧 を改善しながら、未来の に着手した。今あるシワ

液に仕上がっている」(湯

席に着くと、店員か

ニット 湯 商品戦略ユ 略グループ

れぞれの研究員が会社

品づくりに活かされてい けて取り組んでおり、商 を代表し、プライドをか

今回発売する化粧液

年秋新製品発表 は、「インプレ 7 月 18 日 に 会」が開催され、インプ レアの近況と新製品の特 ルボン コスメティック 長についてコーセーミ ティング戦 スマー 『バランスチューナー』 イジング症状に着目し は、今年2月に発売した に続く第2弾で、肌のエ 広いお客さまに提案した た。美容師の方々より幅

J呼ばれている。漢数 18日は、「米の日」 本紙が発行される8 例もあるそうだ。 や毎月8日・18日・28 想される通り、象印マ 日を米の日としている を訪れた。名前から連 レストラン「象印食堂」 社が手掛ける 先日、お米が主役の ービンが運営元で、 ことができた。 明を受けた。事前予約 らメニューに関する説 になる。いずれもご飯 は食べ放題となってお 定食の中から選ぶこと なしの場合は3種類の

字にすると八・十・八 ることが由来であると しとで米の字が完成す かになっていない。 な由来や発案者は明 う説が有力だが、正 なり、組み合わせる 月八日のみとする説

き」で炊き上げ **炊飯器「炎舞炊** 最上位モデルの わかずとともに にご飯が季節の

佐供される。<br />
東京の店

は2年前にオープン

めする粘りと硬さのバ

り、象印が最もおすす

開店後すぐに入店する いる。幸運なことに、 はどの人気店となって 配布が終了してしまう はお昼ごろに整理券の たが、現在も土日に れる「しゃっきり・も ちもち」、同じく月替 う」、月替りで提供さ ランスである「ふつ 混ぜた「健康応援米」 わりで玄米や雑穀米を

私の

ランドという点であり、 セーとミルボンの協業ブ る。一番の特徴は、コー したインプレアは現 全国約2500店の 「2019年にデビュ 科の多年草・エンメイソ 善の効果を叶えた。シソ ボンの研究知見を活か は、コーセーとミル 「リンクレスチューナ ド」を配合し、年齢を重 ソウエキス(保湿)を配 ウから抽出したエンメイ 効成分「ナイアシンアミ 合。さらに、シワ改善と 美白効果が認められた有 らも、べたつきの少ない と濃密な質感でありなが 使用感を特長としている。 プローチする。しっとり の肌悩みに全方位からア ねるごとに気になる大人

## は基本商品 導入美容液大容量を発売 0 開発を完了

ぎをテーマに売場を編集する。 ーズンで、基本商品の開発を完了する。次のステージで、健康やくつろ を徹底し、大ヒット商品の発酵導入美容液が誕生した。25年秋冬シ 品開発に取り組んでいる。<br />
生活雑貨部はこの2年、<br />
基本商品の開発 、一マに売場を編集する。 で、基本商品の開発を完了する。次のステージで、健康やくつろにが底し、大ヒット商品の発酵導入美容液が誕生した。25年秋冬シに開発に取り組んでいる。生活雑貨部はこの2年、基本商品の開発に開発に取り組んでいる。生活雑貨部はこの2年、基本商品の開発に日常年活を支える商

スタイルや家具に広げて となっていたが、同じ生 いく。スキンケアについ ては、基本のブラッシュ 活の基本をテーマにテキ スキンケアの小物が中心 アップが中心となる」(嶋 「これまでは日用品や 入美容液や蒸篭などのヒ を牽引している。発酵導 びをみせ、生活雑貨全体 スウェアは計画通りの伸 ルス&ビューティやハウ 雑貨部管掌) 崎朝子上席執行役員生活 開発を強化してきたへ

ると、口の中にお米の た。真っ先に一口頬張 ツヤがまず目に入っ 料理が届くのを待った。 いる。「ふつう」を選び、 の3種類が用意されて お膳が運ばれてくる になっていた。 なってしまったので、 はあっさりとした味わ 確かに「ふつう」より を注文。食べてみると、 お代わりを頼んだ。2 杯目は「しゃっきり」 あっという間になく

お米が好きで普段 少しは意識して る。水の配合量も からよく食べてい いだった。 筆者はもともと

も、ご飯のお供にぴっ きりと味を感じること 甘みがしっかりと広が ができた。主菜以外に ~6品ほど並んでお 一粒一粒からはっ 気づけば茶碗は空 はないが、今度炊飯器 みようと思う。 を購入する際にはもう ばらく買い替える予定 驚いた。あいにく、し で大きく変わるのかと るが、炊飯器でここま

> 整ってきた」(嶋崎上席 びに、期待をもって見て うして、新商品が出るな しだわりや便利さを繰り し、訴求してきた。そ んだけるような環境が

ット商品を開発する体制 が整備された。 「売上を最大化するた

25年秋冬シーズンは発

酵導入美容液の大容量 る。大容量や機能を切 のボディケアを拡充 用シリーズで、500 シフトする中、敏感肌 り口の中・高価格帯 ることで、 3490円) を発売す (100㎡・参考価格



## ル・キッドマンが

ドマンを起用する。 ーとしてニコール・キ バルブランドアンバサ ーブランド「クレ・ バルラグジュアリ 資生堂のグロー ル・キッドマンは、クレ・ ことで知られるニコ 性のための権利擁護活動 に熱心に取り組んでいる ーなど多彩に活躍し、 する「輝き」(一知性、 ド・ポー ボーテが追求 俳優や映画プロデュー

の一)を完璧に体 り生み出されるも ら、新アンバサダ - に起用するに至

スチックがよくいわれ

るのではないか。

感性、生き方によ

過ぎ知 

を明確にし、コミュニケ

CMやトレインチャネル

を放映し、認知度を上げ

V O L 21

いようにスキンケアなど ーションもバラツキがな め売場づくり、商品計画

戦略。プラスチック容 ステナブルパッケージ 器・包装等含むプラス 最新プラスチック環境白書とクリーンビューティー の代表ともいえるサ クリーンビューティ 空気中、また魚が食 るが、マイクロプラスチ からエベレストの山 ックは河川や海洋中 クリーンビューティー

料もあり、参考になる。

実の殻を砕いた代用原

心に商品のちょっとした

ルエンサーやSNSを中 てきた。加えて、インフ

定となっていることか の交渉を継続するため らせるための世界条約 世界環境デーでは、 洋汚染を含むプラスチ るほど、プラスチック 地球25周分ともいわ いえば、マイクロプラ なされた。 今年6月 っている。2022年 スチック容器など都市 2050年までにプラ ら、あらためてBea ラスチック汚染を終わ 拘束のある国際文書を ック汚染に関する法的 3月の国連総会で、 中でも最重要課題とな る。グローバル規模で 勝つ)というスローガ 糸に危機を及ぼして に8月に各国が集う予 に達し、その廃棄量は とともに言及が高ま 発するための決議 形廃棄物は38億トン プラスチック汚染と llution Plastic たり、子孫にもそのま 体内に蓄積して栄養 どを食するなどによりマ さることがあるという。 グローブの根に覆い 以外にも、サンゴや を間違って飲み込むこと らせるプラークにもマ や研究はこれから活発に 体内にもどこでもある。 きちんと吸収されなかっ を飲み込みすぎて満腹を されてきている。魚 クロプラスチックが発見 中にも漂い、動脈を 胎盤でマイクロプラスチ 内に侵入すると、妊 吸や農作物・海洋生物な なってくると思われる。 などは出ておらず、 さらには、私たち人間 合も海の生物と同様な 感じて餓死状態にな ックが発見され、血液 プラスチックによる このことから、マイク **伝播することが考え** ークロプラスチックが しまうのだが、人間の の影響が近年懸念さ 体への影響として、 いる。専門的なデー の生物はプラスチ 調査 界では、容器の詰め替え り組みが早い。日用品業 もプラスチックの利用を することが求められる。 ルパッケージがクリーン 少ない。製品の効果や機 きないでいるが、少しで あってもバージンプラス 略が進み、企業も消費者 目的としたパッケージ戦 に必ずでてくるようにな ビューティーの項目の中 も、まだまだマイクロビ 的化粧品業界のほうが取 されるマイクロプラスチ 減らすことはいうまでも 製品の特性上、業界的に が、どのプラスチックで の声にこたえる形となっ った。海外では脱プラを ビーズは重宝されるが、 能を高めるのにマイクロ は、前号でも述べたよう ック様のマイクロビーズ 原料として製品中に配合 チックを排除するだけで ーズに関する取り組みが などは早くから進んで では意識が異なり、比較 ない。またプラスチック ことからなかなか脱却で なく、完全にリサイクル ている。様々なサステナ においては、サステナブ に、化粧品と日用品業界 プラスチックに依存する ノルパッケージがある このほか、イノベーシ ドオフも心配される。

料を活用して開発され

た容器もある。様々な

開発された容器や、海

藻のアップサイクル原

ョンとの絡みとして、

石油エンジンオイルの

アップサイクルとして

使用するなどのトレー

あったり、原料を環境

破壊が絶えないアブラ

ヤシの木から伐採して

のも存在するが、製品

料として水に溶けるも

しては、植物由来を原

プラスチック容器に関

特性と合わない場合も

の選択が求められる。

ステナブルパッケージ

ドや製品に合わせたサ 選択の中から、ブラン

## 海外ブランドでは植物の 長井美有紀

日本サステナブル化粧品振興機構 代表 昭和女子大学現代ビジネス研究所 研究員 化粧品業界に長く、早くから「環境×化粧品」を提唱。業界・企業・一般に化粧 品の環境・社会課題について解ぐ。サステナブル美容の専門家としても活躍し、主 に生物多様性と産業について研究。 請演や執筆、大学での講義などで幅広く活躍。 https://sustainable-cosme.org/ 論文 福井大学共同論文、昭和女子大学紀要 学会発表 ICEBIT2024、NERPS2025